

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公開番号】特開2002-5925(P2002-5925A)
 【公開日】平成14年1月9日(2002.1.9)
 【出願番号】特願2000-184853(P2000-184853)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/49 (2006.01)
G 0 1 N 15/14 (2006.01)
G 0 1 N 21/27 (2006.01)
G 0 1 N 21/64 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/49 H
 G 0 1 N 15/14 C
 G 0 1 N 21/27 Z
 G 0 1 N 21/64 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月14日(2007.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】血液試料に核酸染色蛍光色素を加えて測定用試料を調製し、前記測定用試料をフローサイトメータに併して試料中の粒子の各々について散乱光強度と蛍光強度を測定し、測定された散乱光強度および蛍光強度に基づいて粒子の2次元分布を作成し、2次元分布中に赤血球分布領域を設定してその領域内の粒子数から全赤血球数Aを計数し、

前記赤血球分布領域内で散乱光強度および蛍光強度が低い領域に破碎赤血球分布領域を設定してその領域の粒子数から破碎赤血球数Bを計数し、

B/Aを求め、さらに換算式 $F = f(B/A)$ を用いて破碎赤血球含有率Fを算出する工程からなる破碎赤血球の測定方法。

【請求項2】赤血球分布領域内で散乱光強度が破碎赤血球分布領域よりも高い領域に小型赤血球分布領域を設定してその領域の粒子数から小型赤血球数Cを計数し、前記破碎赤血球含有率FをC/Aに基づいて補正する工程をさらに備えた請求項1記載の破碎赤血球の測定方法。

【請求項3】破碎赤血球含有率Fを算出する工程は、C/Aが所定値より大きいときに、FをC/Aに基づいて補正することを特徴とする請求項2記載の破碎赤血球の測定方法。

【請求項4】Fは、C/Aが所定値以下のときに $F = f(B/A)$ で算出され、C/Aが所定値より大きいときに $F = f(B/A) \cdot \exp\{-a(C/A)\}$ (aは定数)で算出される請求項2記載の破碎赤血球の測定方法。

【請求項5】 $a = 0.43$ である請求項4記載の破碎赤血球の測定方法。

【請求項6】aは1~3%の間の値である請求項3又は4記載の破碎赤血球の測定方法。

【請求項7】換算式 $F = f(B/A)$ が $F = m(B/A) + n$ (m, nは定数)で表わ

される請求項 1 記載の破碎赤血球の測定方法。

【請求項 8】血液試料に核酸染色蛍光色素を加えて測定用試料を調製された測定用試料を流すフローセルと、

フローセルを流れる測定用試料中の粒子に光を照射する光源と、

照射された各粒子から生じる散乱光を検出し散乱光強度に変換する第 1 の検出部と、

照射された各粒子から生じる蛍光を検出し蛍光強度に変換する第 2 の検出部と、

第 1 の検出部で得られた散乱光強度および第 2 の検出部で得られた蛍光強度に基づいて粒子の 2 次元分布を作成し、

2 次元分布中に赤血球分布領域を設定してその領域内の粒子数から全赤血球数 A を計数し

、前記赤血球分布領域内に破碎赤血球分布領域を設定してその領域の粒子数から破碎赤血球数 B を計数し、

B / A を求め、さらに換算式 $F = f (B / A)$ を用いて破碎赤血球含有率 F を算出するデータ処理部を備える、破碎赤血球の測定装置。